

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第23週（6月4日～6月10日）

★ お知らせ！

○ 百日咳に注意して！

百日咳は、母親からの免疫が期待できないため、乳児期早期から罹患し、1歳以下の乳児、ことに生後6ヶ月以下では死に至る危険性も高い疾病です。乳幼児は予防接種を受けることで感染を防ぐことが出来ます。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

感染経路は、患者の咳やくしゃみ、唾などのしぶきに含まれている百日咳菌を吸い込むことによって感染します。「咳エチケット」を心がけてください。

典型的な経過は、感染から約1週間（4～21日）の潜伏期間を経て、風邪症状が続き（カタル期：約2週間）、徐々に咳が強くなっていきます。その後、連続した咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるといった症状を繰り返します（痙咳期：約2～3週間）。激しい咳は徐々におさまりますが（回復期：2～3週間）、回復まで2～3ヶ月かかることがあります。

成人では、咳が長期間続きますが比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。気がつかないうちにワクチン未接種の新生児や乳幼児への感染源となることがあります。

○ A群溶血性球菌咽頭炎に注意して！

定点医療機関からの報告が定点当たり前週の1.87から2.63に増加しました。予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行してください。

○ マイコプラズマ肺炎に注意して！

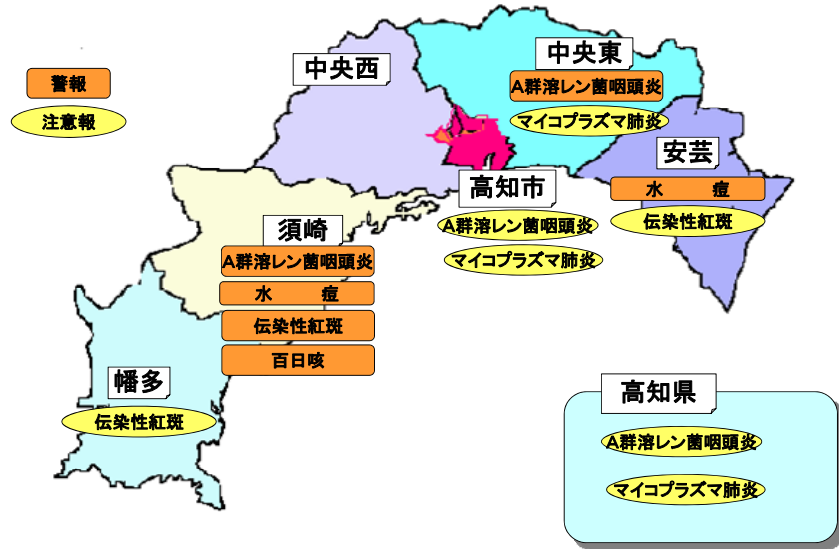
定点医療機関からの報告が定点当たり前週の0.88から1.25に増加しました。飛沫感染、接触感染が考えられるので、手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。

県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり（人）	県内の傾向
感染性胃腸炎		6.07	中央東で増加したが、その他の保健所では減少した。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.63	須崎、中央東、幡多で増加した。中央東、須崎は警報値を超している。高知市は注意報値を超している。
水痘		1.93	須崎、安芸で増加し、警報値を超している。
マイコプラズマ肺炎		1.25	中央東、高知市で増加し、注意報値を超している。
伝染性紅斑		0.87	安芸で増加し、注意報値を超している。その他の保健所では減少した。引き続き須崎は警報値、幡多は注意報値を超している。

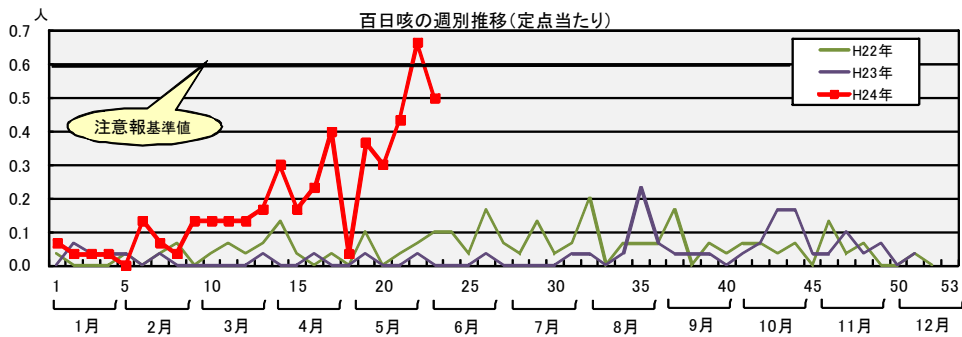
★ 地域別感染症発生状況



★ 気をつけて！

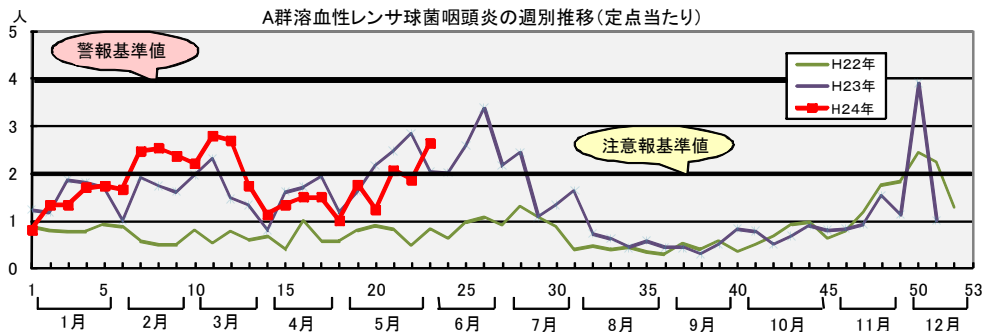
○ 百日咳：0.50（注意報値：0.60 警報値：1.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 0.50 と前週の 0.67 から減少したが、引き続き須崎 4.50 と警報値を超している。病原体定点からの検体から *Bordetella pertussis* が 10 例検出されている。感染力が強いのでうがい手洗いなど一般的な予防法の励行と咳エチケットとしてマスクを着用しましょう。



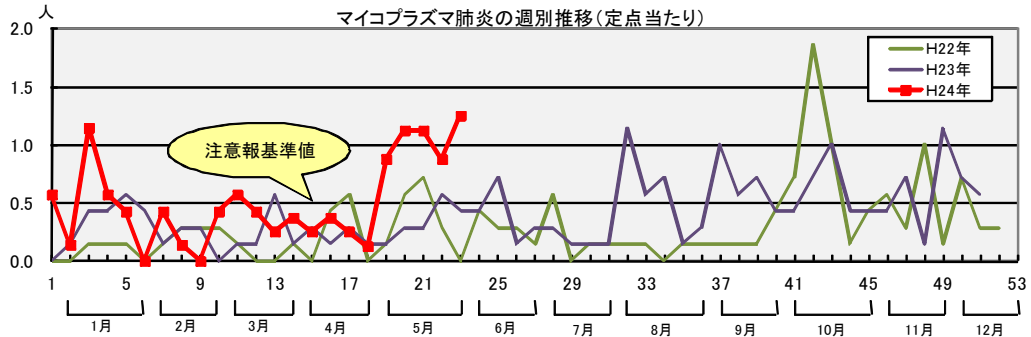
○ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2.63（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 2.63 と前週の 1.87 から増加し注意報値を超している。須崎 4.00、中央東 5.00、幡多 1.60 で増加し、中央東、須崎では警報値を超している。高知市 2.00 では注意報値を超している。手洗い、うがいなど一般的な予防法を励行しましょう。



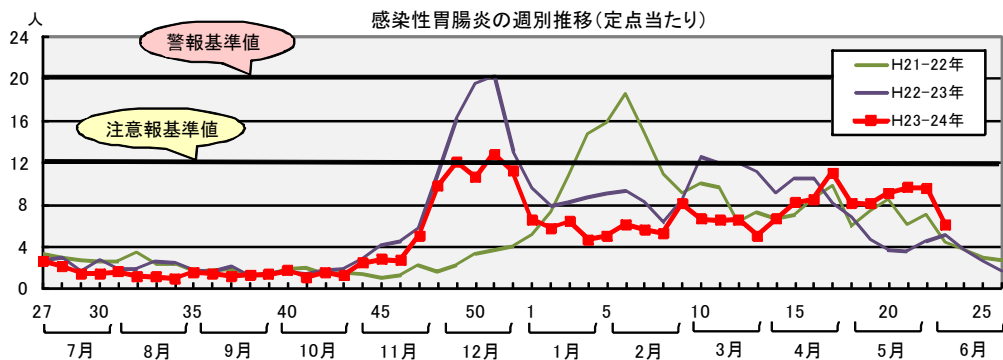
○ **マイコプラズマ肺炎：1.25（注意報値：0.50 警報値：2.00）**

定点医療機関からの報告が定点当たり 1.25 と前週の 0.88 から増加し注意報値を超している。中央東 1.00、高知市 1.80 で増加し注意報値を超している。病原体定点からの検体から *Mycoplasma pneumoniae* が 5 例検出されている。手洗い、うがいの励行と、長引く咳が続く場合は医療機関の受診をお願いします。



○ **感染性胃腸炎：6.07（注意報値：12.00 警報値：20.00）**

定点医療機関からの報告が定点当たり 6.07 と前週の 9.57 から減少した。中央東 4.14 で増加した。例年の同時期と比較すると、高い値が続いています。外出後の手洗い、食事前やトイレ後の手洗いに気を付けてください。



★ **病原体検出情報**

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
23	感染性胃腸炎	1	女	中央西	Rotavirus group A NT
23	百日咳	13	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	14	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	14	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	8	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	13	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	5ヵ月	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	14	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	13	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	12	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	百日咳	14	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
23	マイコプラズマ肺炎	12	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
23	マイコプラズマ	10	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
23	百日咳	13	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
23	百日咳	13	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
23	百日咳	7	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
21	咽頭扁桃炎	3	男	中央東	Rhinovirus
22	気管支炎	1	男	高知市	Parainfluenza virus 3
22	上気道炎	55	女	高知市	Rhinovirus
22	急性気管支炎	-	男	中央西	Rhinovirus
22	下気道炎	2カ月	男	幡多	Rhinovirus

*「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
3類	腸管出血性大腸菌	1	1	0歳代(女)	中央東

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 2例(10、16歳)、溶連菌感染症 10例
	早明浦病院小児科	ロタウイルス感染症 4例(1歳男、2歳女、3歳男女) アデノウイルス感染性胃腸炎 1例(1歳男) 溶連菌感染症は再発例が多い
	高知大学医学部小児科	ロタ腸炎 1例(1歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 4例(10歳女2名、12歳男、15歳女) 百日咳 1例(39歳男 東浜株×320 山口株×2560)
	細木病院小児科	ロタ 2例(9ヶ月、3歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス扁桃炎 1例(35歳女) 百日咳 1例(12歳女 東浜株 1280倍 山口株 1280倍)
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1例(4歳女)
	石黒小児科	帯状疱疹 1例(6歳女)
須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎(アデノ+) 1例 マイコプラズマ肺炎 3例(7、10、13歳) 百日咳 9例、22週百日咳 LAMP法陽性 12例
幡多	さたけ小児科	キャンピロバクター 1例(1歳男)

★ 全国情報

第21週(5/21~5/27)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核395例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症34例

4類感染症：A型肝炎7例感染、つつが虫病11例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、マラリア3例、レジオネラ症13例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群14例、ジアルジア症1例、梅毒12例、破傷風2例、風しん10例、麻しん5例

報告遅れ：E型肝炎1例、デング熱1例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

◆ マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) を病原体とする呼吸器感染症である。感染経路としては、飛沫感染による経気道感染や、接触感染によって伝播すると言われている。保育施設、幼稚園、学校などの集団生活施設内や家庭などでの感染伝播はみられるが、短時間の曝露による感染拡大の可能性はそれほど高くはなく、学校等では友人間などの濃厚接触による感染が重要であるといわれている。潜伏期間は2～3週間とインフルエンザやRSウイルス感染症等の他の小児を中心に大きく流行する呼吸器疾患と比べて長く、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などである。本症の特徴的な症状である咳は、初発症状発現後3～5日より始まることが多く、乾性の咳が経過に従って徐々に増強し、解熱後も長期にわたって(3～4週間)持続する。かつては「異型肺炎」として、肺炎にしては元気で一般状態も悪くないことが特徴であるとされてきたが、重症肺炎となることもあり、胸水が貯留することもそれほど珍しくはない。

診断には特異的IgM抗体迅速検出キットが開発され、臨床現場において活用されてきているが、幼児、学童の初回感染例では発病1週間以内では陰性を示すことが多く、また単一血清で高い抗体価であっても感染の既往を示している可能性を否定できない。最近では、PCR法やLAMP法による遺伝子検出が次第に多くの検査機関で実施されるようになってきている。

治療は抗菌薬投与による原因療法が基本であるが、*Mycoplasma pneumoniae* は細胞壁を持たないために、β-ラクタム系抗菌薬には感受性はない。これまでは蛋白合成阻害薬であるマクロライド系(エリスロマイシン、クラリスロマイシン等)が第1選択薬とされてきたが、以前よりマクロライド系抗菌薬に耐性を有する耐性株が存在することが明らかとなっており、近年その耐性株の割合が増加しつつあるとの指摘もあり、特に小児科の臨床現場に対する影響が懸念される。

マイコプラズマ肺炎は、かつては、他の病原体によるものも含まれる「異型肺炎」として発生動向調査が実施されていたが、1999年4月の感染症法改正により、現在の病原体診断に基づく調査となった。現在、マイコプラズマ肺炎のサーベイランスは全国約500カ所の基幹定点医療機関(2次医療圏域毎に1カ所以上設定された、300人以上収容する施設を有する病院)からの報告に基づいている。

2012年第21週のマイコプラズマ肺炎の基幹定点からの定点当たり報告数は0.95(報告数442)となり、3週連続して増加が認められた。第21週の定点当たり報告数を都道府県別にみると、愛知県(2.85)、青森県(2.83)、石川県(2.80)、宮城県(2.33)、栃木県(2.29)、岩手県(2.00)、埼玉県(1.89)の順となっている。30都道府県で前週より増加がみられた。

2012年第1～21週の定点当たり累積報告数は16.98(累積報告数7,897)であり、年齢群別では5～9歳30.6%、0～4歳30.3%、10～14歳17.7%、20～39歳8.1%、60歳以上6.6%の順となっている。2002年以降では、0～4歳の報告割合が最多を占めてきたが、2012年は5～9歳が0～4歳をやや上回っており、また10～14歳、60歳以上の年齢群からの報告割合も例年と比べて高くなっている。

2011年6月(第25週)以降、マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は1999年の発生動向調査開始以来の高水準が継続したまま、ほぼ1年が経過しつつある。定点当たり報告数は、2011年第49週にピークを迎え、その後減少傾向となっていたが、2012年5月のゴールデンウィーク終了後は再び増加傾向となってきた。現状のままでは、2012年も昨年と同様かあるいはそれ以上の流行となる可能性が危惧される。マイコプラズマ肺炎の発生動向には、今後とも長期間にわたって注意が必要である。

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第23週 平成24年6月4日(月)～平成24年6月10日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(22週)	高知県(23週末累計) H24/1/2～H24/6/10	全国(22週末累計) H24/1/2～H24/3/3
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
わふる エンズ	インフルエンザ		4					4 (0.08)	4 (0.08)	1,529 (0.31)	16,397 (341.60)	1,617,563 (328.44)
小児科	咽頭結核熱		3	4	1		1	9 (0.30)	9 (0.30)	1,550 (0.49)	76 (2.53)	18,540 (5.90)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	2	35	22	4	8	8	79 (2.63)	56 (1.87)	8,958 (2.84)	1,295 (43.17)	142,099 (45.18)
	感染性胃腸炎	6	29	91	24	2	30	182 (6.07)	287 (9.57)	28,682 (9.09)	5,149 (171.63)	570,666 (181.45)
	水痘	10	7	16	1	15	9	58 (1.93)	81 (2.70)	4,476 (1.42)	1,278 (42.60)	100,921 (32.09)
	手足口病		1	2			2	5 (0.17)	5 (0.17)	652 (0.21)	31 (1.03)	8,714 (2.77)
	伝染性紅斑	2	6	5		5	8	26 (0.87)	34 (1.13)	552 (0.18)	542 (18.07)	12,302 (3.91)
	突発性発疹		2	9	1	1	1	14 (0.47)	13 (0.43)	2,170 (0.69)	270 (9.00)	35,122 (11.17)
	百日咳			6		9		15 (0.50)	20 (0.67)	146 (0.05)	147 (4.90)	1,542 (0.49)
	ヘルパンギーナ	1	1	2			2	6 (0.20)	10 (0.33)	1,135 (0.36)	39 (1.30)	3,947 (1.26)
	流行性耳下腺炎			1		1	6	8 (0.27)	15 (0.50)	1,616 (0.51)	454 (15.13)	33,353 (10.61)
RSウイルス感染症			1			2	3 (0.10)	2 (0.07)	381 (0.12)	617 (20.57)	24,705 (7.86)	
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	14 (0.02)	()	240 (0.35)
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	395 (0.58)	21 (7.00)	7,898 (11.63)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	12 (0.03)	6 (0.86)	202 (0.43)
	無菌性髄膜炎							()	()	12 (0.03)	9 (1.29)	264 (0.57)
	マイコプラズマ肺炎		1	9				10 (1.25)	7 (0.88)	386 (0.83)	96 (13.71)	8,287 (17.82)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1 (0.13)	()	19 (0.04)	2 (0.29)	292 (0.63)
計 (小児科定点当たり人数)	21 (10.50)	89 (12.36)	169 (14.44)	31 (10.32)	41 (20.50)	69 (13.80)	420 (13.59)			52,685	26,429 (671.53)	2,586,657
前週 (小児科定点当たり人数)	36 (18.00)	62 (8.80)	254 (22.36)	51 (16.74)	30 (14.75)	111 (22.20)		544 (17.82)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(22週)	高知県(23週末累計) H24/1/2～H24/6/10	全国(22週末累計) H24/1/2～H24/3/3
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
わふる エンズ	インフルエンザ		0.36					0.08	0.08	0.31	341.60	328.44
小児科	咽頭結核熱		0.43	0.36	0.33		0.20	0.30	0.30	0.49	2.53	5.90
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	1.00	5.00	2.00	1.33	4.00	1.60	2.63	1.87	2.84	43.17	45.18
	感染性胃腸炎	3.00	4.14	8.27	8.00	1.00	6.00	6.07	9.57	9.09	171.63	181.45
	水痘	5.00	1.00	1.45	0.33	7.50	1.80	1.93	2.70	1.42	42.60	32.09
	手足口病		0.14	0.18			0.40	0.17	0.17	0.21	1.03	2.77
	伝染性紅斑	1.00	0.86	0.45		2.50	1.60	0.87	1.13	0.18	18.07	3.91
	突発性発疹		0.29	0.82	0.33	0.50	0.20	0.47	0.43	0.69	9.00	11.17
	百日咳			0.55		4.50		0.50	0.67	0.05	4.90	0.49
	ヘルパンギーナ	0.50	0.14	0.18			0.40	0.20	0.33	0.36	1.30	1.26
	流行性耳下腺炎			0.09		0.50	1.20	0.27	0.50	0.51	15.13	10.61
RSウイルス感染症			0.09			0.40	0.10	0.07	0.12	20.57	7.86	
眼科	急性出血性 結膜炎									0.02		0.35
	流行性角結膜炎								0.33	0.58	7.00	11.63
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	0.86	0.43
	無菌性髄膜炎									0.03	1.29	0.57
	マイコプラズマ肺炎		1.00	1.80				1.25	0.88	0.83	13.71	17.82
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.20				0.13		0.04	0.29	0.63
計 (小児科定点当たり人数)	10.50	12.36	14.44	10.32	20.50	13.80	13.59			671.53		
前週 (小児科定点当たり人数)	18.00	8.80	22.36	16.74	14.75	22.20		17.82				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869